

子どもの頃よく遊んだ



この公園は、子どもの頃に板切れたとか、古座布団などを持ってきて、この山の上から下まで滑ってヘイの池まで突っ込んでいくのが面白くて、そういうことを毎日のようにやっていた思い出の場所です。暖かいと6月の初めくらいには、池で泳いでいましたね。水から顔を出したら横にヘビがいたりして、本当に怖いところでしたけども、こういう公園ができると思いませんでした。

誕生秘話

香北の自然公園の話は、旧香北町の名誉町民3人で食事をしてたときに立ち上がりました。その3人とは、山脇哲臣さん（元県立牧野植物園園長）、やなせたかしさんと私の3人です。既にやなせたかし記念館アンパンマンミュージアムの建設に多額の寄付を投じていたやなせたかしさんから「トメさんも故郷のために何かしなさい」という話がありました。最初



①公園の整備に尽力された個人や団体に感謝状・記念品が贈呈されました。②花の種が入った紙風船を空へ。③フジバカマとシデコブシを植樹。④式典当日、乱舞していたアサギマダラ。

皆さんに支えられている

私は桜をやりたいたいと言いました。やなせさんもそうでしたが、山脇さんは「桜はどこにでもある。そうじゃないものを造ろう」と言っていた。今の形になりました。

当初、58世帯の方が今の自然公園の所有者でした。これを旧香北町の職員さんが一軒、一軒回ってご理解をいただいて公園ができました。「あんな急坂に公園を」とよく言われましたが、急だからこそ水はけがよく、いい自然の花が育つということで、今の公園ができた経緯があります。

また、野草と花の区別が私たちにはできないので、そこが心配でした。たまたまい人がいて、その皆さん方がこの公園をこよなく愛してお世話してくださり、10年の間で見事に立派な公園になったと思っています。彼らに巡り合えたのがこの公園にとって幸せだったと思います。

子どもたちが、公園の東屋まであがって、食事をしています。造って良かったと思っています。ときどき帰ってきて公園から眺めてふるさとはいいもんだなと感じます。皆さんの善意によって支えられている公園だと思っています。

香北の自然公園 10周年記念式典

10月27日、香美市初の観光大使の委嘱を受けた福留功男さんをお迎えして、香北の自然公園10周年記念式典が開催されました。



香北の自然公園からの眺望